

茨城新聞

2月8日
木曜日

リスキリング 先進2社表彰

県庁でシンポ

県は7日、県内企業などにリスキリング(学び直し)の理解を深めてもらうためのシンポジウムを水戸市笠原町の県庁で開いた。リスキリングの先進企業を表彰し、講師を招いた基調講演を実施した。

特に先進的だと認められ



リスキリングの推進企業として表彰された県内企業の代表者ら＝県庁

る「ベストプラクティス企業」には建設やリサイクルなどを手がける関東道路(筑西市、武藤正浩社長)と工事塗装などのヒバラーポレーション(東海村、小田倉久視社長)の計2社が選ばれた。関東道路は事業拡大のため専門部署を設立してデジタルやグリーン分野のリスキリングを推進。ヒバラーポは業務時間内にスキル習得時間を確保し、成果を待遇に反映している点などが評価された。

両社はパネル討論にも登壇。取り組みを通じた会社の将来像として、武藤社長は「事業構想を立案できる従業員が育ってくればうれしい」とし、小田倉社長は「スマート工場を目指したい」と話した。

日本におけるリスキリングの第一人者、後藤宗明氏による基調講演も行われた。後藤氏は、今後5年間で現在の世界の雇用約25%に当たる1400万件が減少するとのデータを紹介し、リスキリングの必要性を強調した。